

# 「エッセンスシート」を用いた国語の学習観・学力にかかわる考察

東京電機大学中学校・高等学校 松永 航平

## 実践背景

### 【問題点】

- ①国語の、「なんとなくできたりできなかったりする」「できないからやらない」というイメージ
- ②授業・考査と模試(あるいは入試)成績の乖離

### 【期待】

- ①「学力」の高い生徒の考え方・取り組み方にフォーカスし、模倣することで自己調整を行うようになること
- ②国語の授業・自主学習に対する考え方を変化させること
- ③上記①②のもと、初見文章に対する学力を向上させること

## 取得データおよび検証方法

- ①アンケート(1学期(5月)・2学期(12月))
- ②模試成績と「エッセンスシート」の取り組み
- ③ロイロノートに提出されたエッセンスシート／振り返りシート
- ④考査成績

## 実践方法

- 対象学年: 高校1年生
- クラス数および対象生徒人数: 2クラス(42名／38名)
- クラス特性: 習熟度上位クラス／基礎クラス
- 実践期間: 2024年5月～

以下、「ロイロノート」を活用。

### ○「エッセンスシート・授業」

- i) 考査ごとに、授業の内容を1枚のカードにまとめた「エッセンスシート」を作成。  
※情報を「たたむ」ことを意識する。
- ※「この單元におけるもの」「今後も継続的に必要なもの」を分ける。
- ※「完全に自分のものになったもの」は消してもよい。
- ii) 常に相互にシートを見られるようにしておく。
- iii) 授業中、「エッセンスシートに溜める」ことを促し、その時間を確保する。
- iv) 単元・教材ごとに、「クラスメイトのエッセンスシートを見る」ことを促し、その時間を確保する。(時間に余裕がない時は割愛)
- v) 考査前の最後の一時間は、上記iii) iv) の総まとめの時間とする。
- vi) 考査後にそのシート自体の振り返りを行う。

## 結果

### ① アンケート ※6「とてもあてはまる」～1「まったくあてはまらない」の6段階、各項目の満点6.0

クラス	介入		ポジティブな事項				ネガティブな事項			
			意味理解	思考過程	方略	失敗活用	暗記	結果	環境	授業だけ
習熟度上位	介入あり	1学期	4.4	4.6	5.1	4.8	3.2	3.5	4.0	4.4
		2学期	5.0	4.9	5.3	5.0	2.9	2.9	3.9	3.9
		2学期-1学期	0.6	0.2	0.2	0.2	-0.4	-0.6	-0.1	-0.5
習熟度一般	介入あり	1学期	4.6	4.5	5.0	4.3	3.1	3.5	4.3	4.2
		2学期	4.9	4.3	5.1	4.5	3.4	3.6	4.0	4.3
		2学期-1学期	0.2	-0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	-0.3	0.1
		2学期-1学期	0.2	-0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	-0.3	0.1
	介入なし	1学期	3.6	4.1	5.0	4.2	3.3	3.9	4.1	4.5
		2学期	4.3	4.0	4.9	4.5	3.5	3.8	4.1	4.6
		2学期-1学期	0.7	-0.1	0.0	0.3	0.3	0.1	-0.1	0.1
		2学期-1学期	0.7	-0.1	0.0	0.3	0.3	0.1	-0.1	0.1
	介入なし	1学期	3.8	3.8	5.1	4.4	3.5	4.0	3.9	4.6
		2学期	4.6	4.6	5.3	5.0	3.5	3.6	4.4	4.6
		2学期-1学期	0.9	0.8	0.1	0.6	0.0	-0.4	0.5	0.0
		2学期-1学期	0.9	0.8	0.1	0.6	0.0	-0.4	0.5	0.0

青字: 望ましい結果 (ポジティブな事項で+ / ネガティブな事項で-)

赤字: 望ましくない結果 (ポジティブな事項で- / ネガティブな事項で+)

※数値は四捨五入したものであり、小数点以下の見かけの数字にずれが生じています。

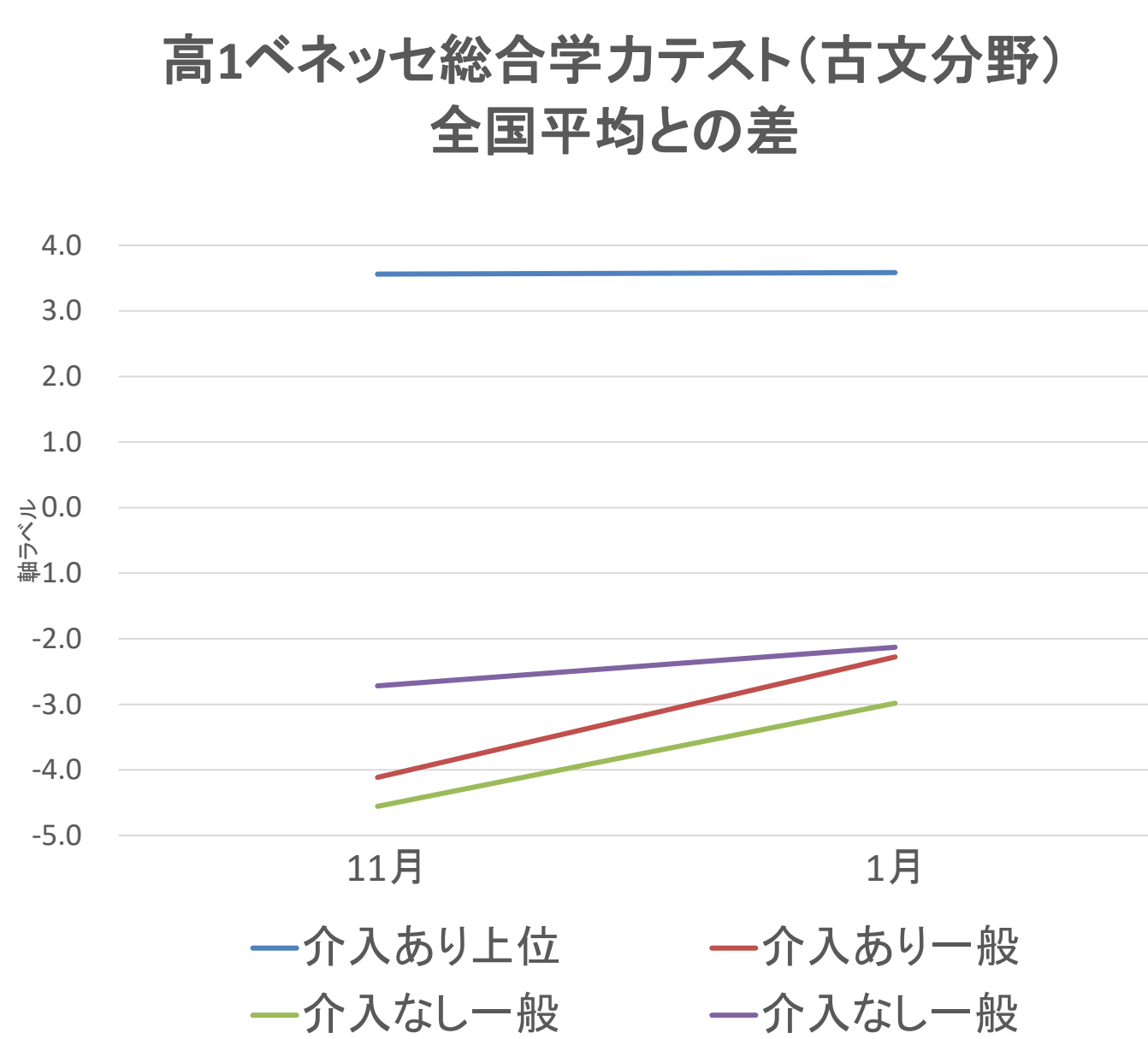
すべてのクラスにおいて、概ね良い変化がみられる結果となった。

特に習熟度上位者で編成されるクラスは、本研究のねらいでもある授業観に対する変化がはっきりと見られた。

その一方で、習熟度一般クラスにおいては、介入あり／なしでの差があまり見られなかった。

授業でのほたらきかけを、すでに学習の準備ができている層とそうでない層に分けて考え、介入の強度を変えていくことが必要か。

### ② 模試成績



11月～1月に向けて全国的に平均点が下がる⇒内容が難化する中で、

介入クラスの全国平均との差の上昇分が下がり、(僅かではあるが)上昇したことはポジティブにとらえたい。

また、

習熟度上位クラスにおいて、1月模試成績下位5名はすべてエッセンスシートの質が低い、または未提出であり、

習熟度一般クラスにおいて、1月模試成績上位3名はすべてエッセンスシートの質が向上していた。

### ③-(1)「エッセンスシート」例

before (一学期)

after (二学期)

高校1年生 一学期期末エッセンスシート

高校1年生 二学期期末エッセンスシート

高校1年生 三学期期末エッセンスシート

高校1年生 四学期期末エッセンスシート

高校1年生 五学期期末エッセンスシート

高校1年生 六学期期末エッセンスシート

高校1年生 七学期期末エッセンスシート

高校1年生 八学期期末エッセンスシート

高校1年生 九学期期末エッセンスシート

高校1年生 十学期期末エッセンスシート

高校1年生 十一学期期末エッセンスシート

高校1年生 十二学期期末エッセンスシート

高校1年生 十三学期期末エッセンスシート

高校1年生 十四学期期末エッセンスシート

高校1年生 十五学期期末エッセンスシート

高校1年生 十六学期期末エッセンスシート

高校1年生 十七学期期末エッセンスシート

高校1年生 十八学期期末エッセンスシート

高校1年生 十九学期期末エッセンスシート

高校1年生 二十学期期末エッセンスシート

高校1年生 二十一期期末エッセンスシート

高校1年生 二十二期期末エッセンスシート

高校1年生 二十三期期末エッセンスシート

高校1年生 二十四期期末エッセンスシート

高校1年生 二十五期期末エッセンスシート

高校1年生 二十六期期末エッセンスシート

高校1年生 二十七期期末エッセンスシート

高校1年生 二十八期期末エッセンスシート

高校1年生 二十九期期末エッセンスシート

高校1年生 三十期期末エッセンスシート

高校1年生 三十一期期末エッセンスシート

高校1年生 三十二期期末エッセンスシート

高校1年生 三十三期期末エッセンスシート

高校1年生 三十四期期末エッセンスシート

高校1年生 三十五期期末エッセンスシート

高校1年生 三十六期期末エッセンスシート

高校1年生 三十七期期末エッセンスシート

高校1年生 三十八期期末エッセンスシート

高校1年生 三十九期期末エッセンスシート

高校1年生 四十期期末エッセンスシート

高校1年生 四十一期期末エッセンスシート

高校1年生 四十二期期末エッセンスシート

高校1年生 四十三期期末エッセンスシート

高校1年生 四十四期期末エッセンスシート

高校1年生 四十五期期末エッセンスシート

高校1年生 四十六期期末エッセンスシート

高校1年生 四十七期期末エッセンスシート

高校1年生 四十八期期末エッセンスシート

高校1年生 四十九期期末エッセンスシート

高校1年生 五十期期末エッセンスシート

高校1年生 五十一期期末エッセンスシート

高校1年生 五十二期期末エッセンスシート

高校1年生 五十三期期末エッセンスシート

高校1年生 五十四期期末エッセンスシート

高校1年生 五十五期期末エッセンスシート

高校1年生 五十六期期末エッセンスシート

高校1年生 五十七期期末エッセンスシート

高校1年生 五十八期期末エッセンスシート

高校1年生 五十九期期末エッセンスシート

高校1年生 六十期期末エッセンスシート

高校1年生 六十一期期末エッセンスシート

高校1年生 六十二期期末エッセンスシート

高校1年生 六十三期期末エッセンスシート

高校1年生 六十四期期末エッセンスシート

高校1年生 六十五期期末エッセンスシート

高校1年生 六十六期期末エッセンスシート

高校1年生 六十七期期末エッセンスシート

高校1年生 六十八期期末エッセンスシート

高校1年生 六十九期期末エッセンスシート

高校1年生 七十期期末エッセンスシート

高校1年生 七十一期期末エッセンスシート

高校1年生 七十二期期末エッセンスシート

高校1年生 七十三期期末エッセンスシート

高校1年生 七十四期期末エッセンスシート

高校1年生 七十五期期末エッセンスシート

高校1年生 七十六期期末エッセンスシート

高校1年生 七十七期期末エッセンスシート

高校1年生 七十八期期末エッセンスシート

高校1年生 七十九期期末エッセンスシート

高校1年生 八十期期末エッセンスシート

高校1年生 八十一期期末エッセンスシート

高校1年生 八十二期期末エッセンスシート

高校1年生 八十三期期末エッセンスシート

高校1年生 八十四期期末エッセンスシート

高校1年生 八十五期期末エッセンスシート

高校1年生 八十六期期末エッセンスシート

高校1年生 八十七期期末エッセンスシート

高校1年生 八十八期期末エッセンスシート

高校1年生 八十九期期末エッセンスシート

高校1年生 九十期期末エッセンスシート

高校1年生 九十一期期末エッセンスシート

高校1年生 九十二期期末エッセンスシート

高校1年生 九十三期期末エッセンスシート

高校1年生 九十四期期末エッセンスシート

高校1年生 九十五期期末エッセンスシート

高校1年生 九十六期期末エッセンスシート

高校1年生 九十七期期末エッセンスシート

高校1年生 九十八期期末エッセンスシート

高校1年生 九十九期期末エッセンスシート

高校1年生 一百期期末エッセンスシート

### ③-(2)「エッセンスシート振り返り」例

高1「言語文化」クラス別平均点推移

クラス	介入	1 中間	1 期末	2 中間	2 期末
習熟度上位※	あり	67.2	70.0	67.7	65.2
習熟度一般	なし	47.3	60.3	55.1	50.7

※習熟度上位クラスは考査問題も一部異なる

### ④ 考査成績推移

考査問題自体が若干異なるので、直接比較は難しいが、習熟度一般クラスにおいて、介入の有無である程度の差が見て取れる。

「授業の内容をリカバリーすること」に対して、「エッセンスシート」作成と(相互)復習が一定の成果を得られたといえる。

## 考察・課題

### ○ 考察

#### ①学習観・メタ認知(「結果」①)

上位クラスでは、期待通りに本取り組みの成果が反映された一方で、一般クラスでは、予想と異なる結果となった部分もあった。上述したように、クラスごとに授業での働きかけの内容や強度に工夫が必要であると考えられる。

#### ②エッセンスシートと模試／考査成績(「結果」②・③・④)

成績上位者または向上者は、概ねエッセンスシートを適切に作成・復習できている。特に、「結果」④考査成績推移からは、「エッセンスシート」を用いることでの学習成果は見える。

### ○ 反省・課題

- ①「実践背景」【期待】①について、データとしてはっきりと見られるようなフレームを作るべきであった。(「結果」③-(2)が該当)
- ② 上記の考察②をうけると、初見文章へ対応力(≒所謂「学力」)の伸長を求めるならば、エッセンスシートのシステムに加えて、以下のような授業のデザインや介入の工夫が、解決すべき課題の中心になるだろう。

- A)【授業】初見文章読解に向けての授業デザインの調整
- B)【介入】学習実態の確認／促進
- C)【介入】「エッセンスシート振り返り」を用いた相互復習の取り組みの促進